

給食だより10月

札幌市立篠路小学校

札幌市立茨戸小学校

令和8年9月30日

身体を動かすのに、気持ちの良い季節になりました。たくさん運動をして、秋のおいしいものを食べて、寒い冬に向けて体力をつけてほしいと思います。朝、夕は、気温が下がってきているので、体調管理には十分気を付けてください。食欲の秋、芸術の秋、運動の秋、いろいろな秋を楽しんでほしいと思います。



「減塩」の大切さ～おいしく食べて健康に！

「減塩」と聞くと、「大人が気をつけるもの」「味が薄くて物足りないもの」というイメージがあるかもしれませんが、子どもの頃からの薄味の習慣は、将来の健康を守る大切な土台になります。

なぜ子どもの頃から「減塩」が大切なの？

塩分（ナトリウム）は体に不可欠な栄養素ですが、摂りすぎると将来的に高血圧や生活習慣病のリスクを高めてしまいます。味覚が形成される小・中学生の時期に濃い味付けに慣れてしまうと、大人になっても薄味では物足りなくなってしまう。「塩分控えめでも美味しい！」と感じる舌（味覚）を育てることが大切です。調味料は、全体に「かける」から少量「つける」にする、「栄養成分表示」の塩分（食塩相当量）を見るようにするなど、工夫してみてください。

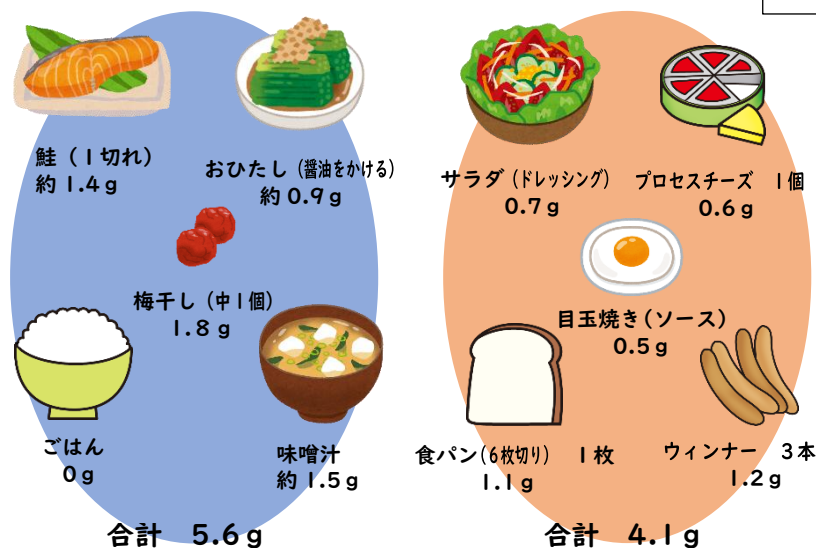
塩分の目標量（1日）

- 小学生： 低学年 4.5 g 未満
 中学年 5.0 g 未満
 高学年 6.0 g 未満
- 中学生： 男子 7.0 g 未満
 女子 6.5 g 未満

（※日本人の食事摂取基準 2025 より）

食事に含まれる食塩相当量の目安

（食塩相当量～食品中のナトリウム量を「食塩に換算した量」で示したもの）



ラーメン 1杯
約 7 g



ぎょうざ 4個 (タレ)
約 1.5 g

栄養成分表示

エネルギー	〇〇 kcal
たんぱく質	〇〇 g
脂 質	〇〇 g
炭水化物	〇〇 g
食塩相当量	〇〇 g
(推定値)	

加工食品は栄養成分表示に食塩相当量が記載されています



調味料に含まれる食塩相当量の目安 (小さじ1の場合)



塩
5.9 g



醤油
0.9 g



味噌
0.7 g



中濃ソース
0.5 g



ケチャップ
0.2 g



マヨネーズ
0.2 g

